

アートによる新生ふくしま交流事業「アートで広げる子どもの未来プロジェクト」

おとなり アーティスト

学校連携共同ワークショップ参加校作品展

2024

2025
1/7(火)-1/19(日)

開館時間 9:30 - 17:00 (入館は16:30まで)

入場無料

休館日 1月14日(火)

会場 福島県立美術館(企画展示室B)

福島県

福島芸術計画
FUKUSHIMA GEJUTSU KEIKAKU



福島県立美術館
Fukushima Prefectural Museum of Art



おとなり

アーティスト

学校連携共同ワークショップ参加校作品展

2024

アーティストが 学校にやってきた！

学校連携共同ワークショップとは、美術作家を講師として招き学校等で子どもたちを対象にしたワークショップを開催するアートプログラムです。作家が学校に出向いて子どもたちと交流しながら一緒に「創り出すことの喜び」を味わいます。

今年度のワークショップは福島県出身・在住の作家、佐藤忠博（彫刻家）、小原風子（画家・絵本作家）を招いて県内10カ所の幼稚園や学校等で開催しました。

本展覧会ではワークショップで制作した子どもたちすべての作品を展示します。子どもたちがアーティストとなって生み出した創意工夫あふれる作品をご覧ください。

木で自分の好きなものを表現しよう

佐藤 忠博 彫刻家

1970年 相馬市出身。
1998年 宇津孝志氏に入門。
2013年 入善町下山芸術の森発電所美術館にて個展「佐藤忠博 -silent」。
2017年 松村外次郎記念庄川美術館にて個展「モクチョーシンドローム」。
2017年 富山県美術館にて子ども向けTADワークショップを実施。
近年富山県より福島県相馬市に拠点を移し、相馬市を中心に木彫による作品制作、子ども向けの創作ワークショップの活動を行っている。



佐藤 忠博 ワークショップ参加校



二本松市立安達中学校
いわき市立磐崎小学校
福島県立会津支援学校竹田校
郡山市立御館中学校
会津若松市立第二中学校

イマジネーション遊び

～ じーっと覗いて みてみよう ～

小原 風子 画家・絵本作家

1971年 福島市生まれ、南相馬市在住。東京藝術大学で日本画を学び帰郷。学童保育やチルドレンズミュージアムなど、こどもたちと関わる仕事を経て、現在もこどもたちや地域の方々とのワークショップ活動を続けながら、海のそばで絵や絵本の制作をしている。
絵本に『ももいろのアルパカ』（ポエムピース刊）、『ぼくと2まい葉』（ポエムピース刊）、『こわいきもちとちょっとのゆうき』（みらいパブリッシング刊）などがある。



小原 風子 ワークショップ参加校



小野町立小野小学校
北塩原村立さくら幼稚園
矢吹町立矢吹中学校
郡山市立行徳小学校
福島市教育委員会教育研修課（ふれあい教室）



交通アクセス

電 車 JR 福島駅東口より福島交通飯坂線→「美術館図書館前駅」下車、徒歩 2 分
バ ス JR 福島駅東口より福島交通バス9番のりばから市内循環もりん2コース→「県立美術館入口」下車 徒歩 3 分
タクシ ー JR 福島駅東口・西口より約 5 分
車 東北自動車道福島飯坂 IC より約 15 分、福島西 IC より約 20 分（無料駐車場、約 100 台）

「アートで広げる子どもの未来プロジェクト」
福島の未来を担う子ども達に、将来「新生ふくしま」を推進する人材として活躍してもらうため、多彩なアートプログラムを体験できるワークショップを実施することで心豊かな成長を支援します。

 福島県立美術館
Fukushima Prefectural Museum of Art
〒960-8003 福島市森合字西養山1番地
TEL 024-531-5511



X(旧ツイッター)
@fukushima_kenbi



Instagram
@fukushima_kenbi



福島県立美術館
公式ホームページ